

3-31 その他産業振興（圏域：全市域）

3-31-1 施設再編の方針

対象施設
別府市竹細工伝統産業会館
施設再編の方針
<p>▶ 別府市の竹細工の伝統継承のための拠点であり、機能代替のできない施設であることから、現状のまま維持・存続します。体験型観光施設として、展示機能だけでなく、伝統工芸品を積極的に活用した付加機能により収益力を向上させるため、民間活力導入の可能性を検討します。</p>

3-31-2 現状分析

① 施設の概要

竹細工に関する情報発信、作品の保存展示、後継者の育成等、竹工芸振興のために平成6年に建築されました。建設費用には別府竹製品卸商業組合等の業界団体、金融機関、個人等の寄附が活用されています。伝統文化、技術の継承のために市民を対象にした竹の教室の開催や、竹工芸家が作品の製作に利用するための機械を設置し、竹の切断や、染色などにも利用されています。

② ポートフォリオ分析結果

本用途は、市内に別府市竹細工伝統産業会館のみであり、比較対象がないことからポートフォリオ分析は実施していません。品質状況については、築年数が20.8年と比較的新しく耐震化対応されている施設のため、偏差値が比較的高く算出されています。

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質				平均偏差値(ハード)	供給		財務		平均偏差値(ソフト)
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率(%)	偏差値		1日あたり利用者数(人/日)	偏差値	利用者あたり市負担額(千円・日/人)	偏差値	
388	別府市竹細工伝統産業会館	1,268.0	20.8	55.7	100.0	55.3	55.5	49.3	—	291.6	—	—

図 80 各指標の基礎データ（その他産業振興）

③ 老朽化の状況

平成6年に整備された施設であり、目立った老朽化はみとめられません。

④ 利用状況・コスト状況

(i)年間利用者数

平成26年入館者数14,316名、1日あたりでは約45名程度が利用しています。入館料収入は352万円となっています。利用者はほとんどが観光客であり、一部小学校の社会見学等にも利用されています。その内訳は、観光客10,472人、社会見学833人、その他3,011人となっています。

(ii)運営コスト

収入は少なく、税金負担割合は8割を超えています。